



ご挨拶

杉山 和男 *Kazuo Sugiyama*

(財)国際貿易投資研究所 理事長

この度、財団法人国際貿易投資研究所の理事長に就任いたしました。

当研究所は1981年に日本貿易会内に設置された貿易研究所を財団法人として分離独立させることにより、1989年12月に発足しました。発足に当たり、日本貿易会はもとより、通商産業省(当時)、日本貿易振興会および関係各方面から多大なご支援をいただきました。この機会に関係各位に改めて御礼申し上げます。

設立の目的は、世界の貿易・投資及び企業活動の国際化に関する調査研究、内外関係機関との協力及び交流等を行うことにより、我が国及び諸外国の経済活動のグローバル化を推進し、世界の経済・社会の健全な発展と繁栄に資することにあります。設立以来、世界経済の相互依存関係は目ざましい速度で拡大深化を続けています。貿易に加え、直接投資、情報ネットワーク、技術移転などのさまざまなチャンネルを通じた経済活動のグローバル化が進展しています。一方、貧富の格差拡大、環境問題など多くの課題が改めて提起されています。また、NGO、NPOなどの活動が21世紀の新しいシステムとして注目されています。

このような状況の中での当研究所の使命は、グローバル経済の動態を、貿易と直接投資を切り口として多角的に解明することにあると考えます。世界の貿易、投資、産業、企業活動などマクロ、ミクロの各分野やNGOの活動、環境など地球大の諸問題について調査、研究、分析し、日本および世界の将来の方向と戦略的課題を見きわめるべく努力していきたいと考えております。当研究所には公正貿易センターが併設されており、アンチダンピング法制、国際紛争処理手続きなどを専門に研究しております。同センターの業務を通じて、世界の秩序ある貿易、投資の拡大にも努めていきたいと考えております。

微力ではございますが、これらの任務に努力してまいりたいと考えておりますので、関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。